

公益社団法人日本天文学会理事会議事録

日 時：2013年12月8日（日） 13:30 -17:00

場 所：八重洲ホール 512 室 中会議室

出席理事：櫻井、奥村、山田、中村、本原、熊谷、松尾、茂山、青木、山岡、石丸、滝沢、林田（以上13名）

欠席理事：宮田（以上1名）

欠席監事：尾中、郷田（以上2名）

また、西野事務長と黒岩事務員が出席した。

I. 確認事項など

I-1 議事に先立ち、出席理事が13名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。なお、突然の体調不良等のため、監事が欠席した。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議 長：櫻井隆

署名人：櫻井隆、奥村幸子、山田亨

I-2 前回議事録

資料2に基づき、前回（2013年9月10日）の理事会議事録が報告・確認された。

II. 報告

II-1 移籍・退会報告（資料3、中村）

2013年9月1日より2013年11月22日までの間の移籍・退会者数が報告された。

準会員から正会員への移籍会員数は1名、正会員から準会員への移籍はなし、正会員退会者数は3名であった。

II-2 事業担当理事の近況

1. 年会（中村）

宮田年会理事が欠席のため、中村庶務理事が報告した。春季年会の準備を進めている。現在、講演申し込み期間であるが、今のところ年会準備は順調である。また年会の改善に向けた検討を進めている。

2. 月報（青木）

12号まで発行した。事務所や月報委員の努力により、今年は訂正記事を一度も出さずに発行できた。今後、r-process、ヘリオグラフ、CfCAなどの特集号発行を予定している。

3. 庶務（中村）

2014年度事業計画書を作成した。学会事務所の就業規則、給与規定、退職金

手当等規定の改正案を作成中である。12/10, 12/11 に事務所職員との面談を行う予定である。事務処理の簡略化、経費節減を目指して、年会費口座自動引き落としキャンペーンを行う予定である。Tennet, 会員への email 送付, 月報への案内文掲載などでキャンペーンを周知する。また、ネットワーク委員会で学会ウェブページの更新作業を進めている。2社から更新作業の費用の見積もりを取ったが、予想より高額であった。他社からも見積もりを取るなどして、引き続き更新作業に向けた準備を進める予定である。

4. 会計 (熊谷)

2014年度予算案を作成した。消費税率引き上げに向けた対応を検討した。

5. 天文教育 (山岡)

春季年会でのジュニアセッションは1日半の規模で行う。講師派遣プログラムについては学会ウェブページ更新と合わせて進める予定である。学術会議・宇宙物理学分科会で大学教育改革について検討するための小委員会を置くことになった。

6. PASJ (資料4、茂山)

OUPへの移行の段階で、PASJ購読機関が大幅に減った。今後、割引なども検討し、購読機関数の回復を目指す。PASJ出版費のために継続して申請してきた科研費は今年度で終了するが、科研費の募集要項が変更され、新規事業開始のための補助金のみが対象となり、出版費のための補助金は申請できなくなったため、今年度は科研費申請しない。

7. 七夕講演会実行委員会 (山田)

来年度も全国七夕講演会を開催する。従来のやり方で七夕講演会を行うか、コアになる大きなイベントを開催して、今以上に宣伝をするか検討されたが、ホームページ維持管理および実行体制の見直しを引き続き検討する必要もあり、当面は現在のやり方で進める予定となった。

8. 衛星設計コンテスト (櫻井)

11月に相模原市立博物館で最終審査会があり、日本天文学会より審査委員として井上一、実行委員として坂尾太郎、櫻井が出席した。天文学会賞を日本大学チームに授与した。

II-3 今後の年会の進捗状況報告

1. 国際基督教大学 (石丸)

ICUと国立天文台の共催で開催することになった。また、三鷹市教育委員会、三鷹市ネットワーク大学、東京都教育委員会に補助金を申請予定である。ポスターセッションで使用予定の部屋のレイアウトの都合で、ポスターボード数を増やす予定である。公開講演会は会場準備を30分で行い、12時半から講演を開始する予定である。

2. 山形大（滝沢）

公開講演会の助成金（科研費）に応募した。ポスターボードの見積もりを取った。150枚で50万円ほどであった。

3. 大阪大（林田）

大学との共催となった。ポスター会場の候補が2か所（大学会館講堂、第2体育館）ある。ポスター会場のバリアフリー対応については、調査・検討事項とする。公開講演会を3月21日に大阪市立科学館で開くことになった。定員300名で、プラネタリウム付で有料になる可能性もあり、夕方から夜間の開催予定となった。

II-4 事務所の近況報告（西野）

庶務理事、会計理事とともに2014年度事業計画書と予算案を作成し、学会業務を滞りなく遂行した。学会事務所の危機管理体制を進めるべく、事務所内での業務の見直しなどを検討している。

II-5 年会の改善に向けた取り組み（中村）

年会理事と実務理事を中心に年会プログラムの月報掲載の見直し、予稿集（紙版）の廃止について検討している。年会プログラムの月報掲載の見直しは、月報への掲載量を減らし、経費を削減することが目的である。プログラム不掲載の場合、年間約25万円の節減が実現する。代議員総会と春季年会会員全体集会で趣旨等説明し、秋季年会から実行予定とする。なお、月報へのプログラム不掲載によって、年会申込時期を遅らせ年会との間を短縮するというのは、開催地準備などのスケジュールを考えると現実的ではない。予稿集の紙版廃止は、経費削減には直接つながらないが、予稿原稿の分量を自由に拡大でき、予稿としての完成度を高められるメリットがあるが、講演登録方法と密接に関係しており、引き続き検討を続けることとした。ただし、事前購入者や賛助会員団体会員への説明が必要であるため、早急に廃止はできない。

II-6 消費税率変更における学会の対応について（熊谷）

消費税率引き上げに伴い、年会費は当面据え置き、経費削減を進めることで対応することとした。また、月報は税率引き上げ分として税込み価格を20円上乗せすることとなった。星座早見盤等の販売品は本体価格据え置き、税込み価格を消費税率分上乗せすることとした。年会予稿集は税込み価格を据え置くこととした。

II-7 代議員選挙について（中村）

投票はすでに締め切れ、選挙管理委員会が滞りなく進めている。12/9に選挙管理委員会が開票作業を行う予定である。

III. 議題

III-1 2013年度～2014年度欧文研究報告編集委員会委員増員の承認（資料4、茂山）

このところ系外惑星系に関する論文の投稿数が増加し、その分野の専門家に編集委員会に加わってもらう必要が出てきたため、相川裕理神戸大学准教授を新委員として加えることが提案され、全会一致で承認された。

III-2 新規加入者の承認（中村、資料3）

正会員17名と準会員2名の入会が全会一致で承認された。

III-3 2014年度事業計画書案の承認（資料5、中村）

会員名簿の発行と会長選挙が行われること、他の事業はおおむね例年と同じ計画であることが説明され、全会一致で承認された。

III-4 2014年度予算案の承認（資料6、熊谷）

OUPへの委託販売契約を締結したことに伴い、PASJの予算が大幅に変わった。今年度まで組み込まれていた科研費補助金700万円は計上されていない。また、広告宣伝費約170万円が新しく計上された。その一方、出版費用は昨年度よりも減っている。以上のように、PASJの経費は大幅に変わった上に、為替レートも関係するため、正確な予算額の算出が難しいが、ここ数年の動向を見て将来の予算案の参考にしたい。月報は2013年度と比べ、100万円ほど赤字減となった。消費税率引き上げに伴い、会費の値上げは行わないこと、天文月報や星座早見盤などの販売物は税込み価格を引き上げることにした。全体として約50万円の赤字で予算が組まれていることが説明され、全会一致で承認された。

[資料リスト]

資料1 理事会出欠表

資料2 前回理事会（2013/9/10）議事録

資料3 新規入退会・移籍者などの報告

資料4 PASJ編集委員会からの議題および報告

資料5 2014年度事業計画書（案）

資料6 2014年度予算書（案）

2013年 12月8日

会 長：櫻井 隆 印

副会長：奥村 幸子 印

副会長：山田 亨 印